

2019/04/10

中瀬哲史

## 2019年度専門ゼミナール3レジュメ ガイダンス：今年度の専門ゼミナール3の進め方

### 1.ご挨拶と各自からの自己紹介

#### 2.名簿への記入，確認

### 3.授業計画の説明

#### 3-1.本ゼミの狙い

(シラバス)「企業経営を歴史的に捉え、これからのあり方を検討する」

＝現在および将来の企業経営の進むべき方向を，過去の企業の経営行動を参考にして考えること…「歴史とは何か。何のために学ぶのか」を1冊目のテキストの輪読で  
その際，重要なのは現在の企業経営に対する感覚…企業ヒアリング，工場見学で

#### 3-2.1 年間の授業全体の流れ

4-8月

月	日	曜日	授業科目名	回数	内容	報告者	司会者
4	10	木	ゼミ3	1	ガイダンス、担当役、担当箇所の決定など	-	中瀬
4	17	水	ゼミ3	2	①(カー, 1962)第1章「歴史家と事実」1-16頁	歴史の捉え方の学び	中瀬
4	24	水	ゼミ3	3	①(カー, 1962)第1章「歴史家と事実」16-40頁 第2章「社会と個人」41-61頁		① ② ③ ①
5	15	水	ゼミ3	4	株式会社マネケン勉強会	現実の企業経営との接触	④ ⑤
5	22	水	ゼミ3	5	株式会社マネケン見学, ヒアリング(15時より)	現実の企業経営との接触	-
5	29	水	ゼミ3	6	①(カー, 1962)第2章「社会と個人」62-78頁,第3章「歴史と科学と道徳」79-100頁	歴史の捉え方の学び	⑥ ⑦
6	5	水	ゼミ3	7	①(カー, 1962)第3章「歴史と科学と道徳」101-126頁,第4章「歴史における因果関係」127-146頁	歴史の捉え方の学び	⑧ ⑨
6	12	水	ゼミ3	8	第2回企業ヒアリングの検討	現実の企業経営との接触	⑤⑥
6	19	水	ゼミ3	9			
6	26	水	ゼミ3	10	①(カー, 1962)第4章「歴史における因果関係」146-160頁,第5章「進歩としての歴史」161-185頁	歴史の捉え方の学び	⑩ ⑪
7	3	水	ゼミ3	11	①(カー, 1962)第5章「進歩としての歴史」186-198頁,第6章「広がる地平線」199-234頁	歴史の捉え方の学び	⑫
7	10	水	ゼミ3	12	グループに分かれての夏季討論会への準備	現実の企業経営等との接触	
7	17	水	ゼミ3	13	第2回目の企業ヒアリング	or 他大学との交歓	
7	24	水	ゼミ3	14	第2回目の企業ヒアリング		⑬ ⑭
					グループに分かれての夏季討論会への準備	他大学との交歓	
8	19日-24日	1泊2日or2泊3日			他大学との討論会(於:北海学園大学)		

- 教室内でのテキスト輪読
- 春季の企業ヒアリング(2か所?)  
株式会社ローゼン(「マネケン」ショップ;大阪府吹田市)、第2回目の企業ヒアリング崎

⇒ヒアリング終了後の1週間以内のレポート提出（全員）

- ①見学及びヒアリングした企業の醸し出していた雰囲気
- ②見学及びヒアリングに応じていただいた方の印象
- ③見学及びヒアリング全体の感想
- ④今後の抱負

※企業ヒアリング担当者2名は事前勉強会の資料作成、当日の記録のまとめ

- ◆ 8月下旬の北海道での討論会に向けた準備作業
- ◆ 8月下旬の北海道での討論会
  - 8月19日-24日のどこかの1泊2日ないし2泊3日（前泊，討論会）となると思います。
    - ◇ 今回は、北海学園大学，立命館大学，大阪市立大学の3校になる模様です。
  - 討論会の内容については、今回は私たちが幹事役となるようです。また当日の発表内容は他大学との連絡をする中で詰めることになると思います。なお、これまでは、通学している大学のある地域に絡んだものとなるように思います。
    - ◇ 3年前：「ひらパー」と「アシックス」、2年前：「グリコ」と「大阪のお笑いビジネス」、昨年：「ヴィッセル神戸」でした。

10-11月

- ◆ 希望があれば、関西方面の企業ヒアリングへ

12-1月

- ◆ 三商大討論会（今回は一橋大学がメイン会場）に参加するならば、その準備へ、参加しないならば、輪読＋企業ヒアリング
- ◆ 出すのならば、CORE原稿へ
- ◆ ゼミ生で決めた文献の検討
- ◆ 卒論テーマの発表等
- ◆ ゼミナール活動の記録を作成

2月

- ◆ 4回生ゼミ生の卒論発表会の聴講

### 3-3.毎回のゼミの持ち方

報告者2-3名、司会者1名

中瀬と司会者との、事前の司会進行に関する打ち合わせ

司会者は、毎回、お茶菓子を準備すること（建て替え分をあとでお返しします）

報告者による論点を明示化したレジュメの準備

レジュメ作成方法は、次回授業時の中瀬のレジュメを参考にすること

報告者については後ほど議論

グループ別での討論

札によるグループ分け

文献

① E.H.カー（1962）『歴史とは何か』岩波新書

② ヒアリング関係の文献

欠席、遅刻について

欠席する場合には、事前にメール等で連絡すること。

授業開始後 15 分以内には来ること。（遅刻者が多いと授業がきちんと進行しません）

ゼミ時間中の携帯電話の使用について

議論に必要な情報の獲得に使っていただくのは構いません。

なお、メール、電話の受信は認めますが、送信する場合は部屋を出てお願いします。

#### 4.本日、確認したいこと

- ◆ 授業計画内の報告者、司会者

まずは、別表の予定表の「報告者」の①から⑭のどこかに入ってください。

このうち、

- ◆ ④⑤は株式会社ローゼン様の事前学習会の準備とヒアリング当日の記録作成（先方からの説明のまとめ、質疑応答）
- ◆ ⑬⑭はゼミ内でコンパで決定した企業ヒアリングの事前学習会の準備とヒアリング当日の記録作成（先方からの説明のまとめ、質疑応答）

次に、上記の「司会者」①から⑧と、以下の担当を考えたいと思います。（自薦 or 他薦）

三商大討論会担当幹事：2名（⑨）（⑩）←全員の中から自薦 or 他薦

コンパ担当幹事：2名（⑪）（⑫）←全員の中から自薦 or 他薦

秋季企業ヒアリング担当幹事（複数名）：2名（⑬）（⑭）←全員の中から自薦 or 他薦

参加可能な方から、北海道討論会担当幹事（討論会の仕切り役、他大学との連絡、交通手段の手配等）：2-3名（ ）（ ）（ ）

※なお、このように、いろいろな仕事がありますので、全員が、「ゼミ幹事」となります。そのように意識してください。

#### 5.コンパについて

※ゼミコンパ幹事をご検討ください。

5月17日（金）～6月2日（日）に長居公園で行われる「オオサカオクトーパフェスト2019」に行きませんか！

#### 6.評価

毎回のゼミ出席、企業ヒアリングやOB講話に対する感想レポートの提出、最終レポート等で評価します。